

(講座) 分子創薬科学 (研究室) 細胞制御学
(氏名) 谷村 進 (職名) 助教

【研究テーマ】

1. ERK-MAP キナーゼ経路によるがん細胞運動浸潤調節の分子機構に関する研究
2. 細胞内シグナル伝達経路の選択的遮断を基盤としたがん分子標的治療法の開発

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Watanabe, K., Tanimura, S., Uchiyama, A., Sakamoto, T., Kawabata, T., Ozaki, K. & Kohno, M. Blockade of the extracellular signal-regulated kinase pathway enhances the therapeutic efficacy of microtubule-destabilizing agents in human tumor xenograft models. *Clin. Cancer Res.*, 16, 1170-1178, 2010. [IF: 6.747]
2. Ozaki, K., Kosugi, M., Baba, N., Fujio, K., Sakamoto, T., Kimura, S., Tanimura, S. & Kohno, M. Blockade of the ERK or PI3K-Akt signaling pathway enhances the cytotoxicity of histone deacetylase inhibitors in tumor cells resistant to gefitinib or imatinib. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 391, 1610-1615, 2010. [IF: 2.548]

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 谷村 進、橋詰 淳哉、後藤 愛依子、河野 通宏、大竹 里佳、渡邊一石、河野 通明：Myosin 1E は invadopodia の形成を介してがん細胞の浸潤を調節する、第 69 回日本癌学会学術総会、大阪
2. 坂元 利彰、藤尾 康祐、梶川 修平、上里 新一、渡邊 一石、谷村 進、尾崎 恵一、河野 通明：MEK 阻害剤と HDAC 阻害剤の併用による抗腫瘍効果増強～Xenograft での検討～、第 69 回日本癌学会学術総会、大阪
3. 谷村 進、大竹 里佳、河野 通宏、橋詰 淳哉、後藤 愛依子、黒崎 由希子、瀬井 香奈子、河野 通明：新規タンパク質 SH3P2 による細胞運動制御の分子機構、第 83 回日本生化学会大会、神戸
4. 尾崎 恵一、田宮 万祐子、岩崎 由香、原田 亜弥、谷村 進、栗津 緑、河野 通明：肥大化脂肪細胞の質的改善による糖尿病治療の検討、第 83 回日本生化学会大会、神戸
5. 河野 通宏、橋詰 淳哉、森田 和幹、金丸 雄祐、谷村 進、河野 通明：新規細胞運動制御因子 SH3P2 は Myosin 1E と結合する、第 27 回日本薬学会九州支部大会、長崎
6. 大竹 里佳、橋詰 淳哉、中原 康子、谷村 進、河野 通明：Myosin 1E による細胞運動制御の分子機構、第 27 回日本薬学会九州支部大会、長崎
7. 浅井 廣平、川畑 拓誠、内山 綾、谷村 進、河野 通明：MEK 阻害剤と微小管重合阻害剤の併用による細胞死誘導増強作用の分子機構、第 27 回日本薬学会九州支部大会、長崎

8. 橋詰 淳哉、谷村 進、河野 通明：細胞運動を負に制御する分子、SH3P2 の機能解析、第9回次世代を担う若手ファーマ・バイオフィォーラム2010、京都

【研究費取得状況】

1. SH3P2 はユニークな作用機構を持つ細胞運動制御因子である；科学研究費補助金・若手研究（B）（代表）
2. ERK-MAP キナーゼ経路の選択的遮断を基盤とした新規がん分指標的治療法の開発；武田科学振興財団・薬学系研究奨励（代表）
3. ゲノム不安定性と発がん分子メカニズムの基礎研究拠点形成；長崎大学・第二期重点研究課題（分担）

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	22 編	（邦文）	0 編
総説（欧文）	0 編	（邦文）	6 編
著書（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
紀要（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
特許	0 件		